

『アンサンブルコンサートを終えて』



8/4（日）アルカスSASEBO中ホールに400名超（500席）の来場者の中『第2回アンサンブルコンサート～響ホール室内合奏団と共に～』を無事終演出来ました。ほぼ満席状態。これは第1回（2017年）を大きく上回る来場者数。私は兼ねてからこう思う「演奏が良くても人が入らないコンサートは会としては失敗」だと。生徒さんたちの素晴らしい演奏に感動。そして“400名集客”という目標も達成出来今回は大成功だったと言えると思う。

そもそも2年前に『第1回目』を企画開催したこのコンサートは生徒さんとプロの演奏家との夢の共演がテーマ。プロでなければ意味がない。私もこれまでに3度『ピアノ協奏曲』を演奏する機会があった。2回はアマチュアオケで1回は海上自衛隊佐世保音楽隊。私自身プロオケと共演したことはないのだ。音大を出てプロになったから皆が『ピアノ協奏曲』を経験できるわけではない（経験できる人の方が断然少ない）。地元のアマチュアオケから声をかけてもらっただけでも光栄な事。ピアノ協奏曲はピアノ弾きにとって夢である。

平成元年に佐世保に戻ってからずっと思っていることの一つ「自分を超越する人材は自分で造る！」「自分にしか出来ない事をやる！」一つ目の意味はピアニストとしての意味もあれば私が過ごしてきた過程の意味もある。むしろ後者の意味の方が強い。

二つ目の意味は色々な要望に応えられる引き出しを持ち合わせそのために必要な環境を提供する。このアンサンブルコンサートもその一つ。そしてここでしか経験出来ないこと「皆さまが探されている答えがきっとココで見つかります！」今掲げているR.M.S音楽院（株）のキャッチフレーズ。

この子達が大きくなっていつか一緒に飲みに行ける日を私は楽しみにしている！まだまだ頑張らねば！！